リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和　6　年　10　月　10　日　作成

事業名	認知症高齢者等居場所お知らせサービス事業					
担当部署	部	健幸いきいき部	課	地域包括ケア推進課	係	高齢者支援係

A）基本情報

基本施策	2　健康であたたかい心のかよいあうまちづくり									
分野別施策	施策2　－　2　高齢者福祉【重要施策】									
	－									
展開方向	□　高齢者の就業や社会参加の機会拡大及び介護予防の促進									
	☑　高齢者が地域で安心して暮らすことができる環境づくり									
	□									
予算科目	会計	一般	款	3	項	1	目	3	事業番号	1
事業名称	高齢者日常生活支援事業								継続・新規	継続して実施している事業

B）事業概要・事業目的

事業の概要・目的	徘徊行動のある高齢者等を介護している家族等に対して、探索専用端末機器を貸与し、当該高齢者等が所持することにより、高齢者が徘徊した場合において、居場所を電話等で知らせるサービスを実施する事業。 令和６年度予算：130千円（機器使用料）

C）過去の実績（事業の実績を示す数値　又は　事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可です。

	実績の説明	単位	令和3	令和4	令和5
①	サービス利用者数	人	4	4	3
②	サービス利用状況	回	0	0	0

□　数値として出せる実績はない（下記に理由を記入↓）

実績を出せない理由	

D）昨年度（令和5年度）における事業の課題や反省点

①	制度を開始した平成１３年度から約２３年が経過する中、サービス利用者数が減少し、令和６年１０月
	時点で利用者数が０人となっている。
②	令和４年度から、本事業と類似した、認知症高齢者等みまもりシール交付事業「ただいまオレンジ」を
	実施している。

E）令和6年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	市民からの申請書受理
②	対象者の決定
	※令和６年１０月時点で利用申請に関する問い合わせは無い。
	※徘徊行動のある高齢者等を介護している家族等から相談があった場合、認知症高齢者等みまもり
	シール交付事業「ただいまオレンジ」を案内している。

F）令和6年度中に目指す目標・状態

※「○○意識を高める」、「理解を深める」等といった成果が不明確な目標ではなく、できるかぎり効果が数値化できる目標にしてください。

次年度以降の事業について、廃止に向けて検討する。
　※令和７年度予算における事業費の皆減及び事業実施要綱の廃止

G）当該会議で聞きたいこと

※ある場合のみ記入してください。詳細は会議で説明してください。

①	令和６年度末で廃止する場合の問題点など、意見を伺いたい。
②	
③	
④	
⑤	

H）評価会議での意見・助言等

①	「居場所お知らせサービス事業」の利用状況が令和６年１０月現在０人であること、スマートフォンのＧＰＳ機能等、本事業の代替機能が整備されていること、及び「みまもりシール交付事業」を令和４年度から開始していることを踏まえると、本事業を廃止する方向で進めて良いと考える。
②	
③	
④	

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・分析】

令和　7　年　3　月　10　日 作成

事業名	認知症高齢者等居場所お知らせサービス事業					
担当部署	部	健幸いきいき部	課	地域包括ケア推進課	係	高齢者支援係

A）リアタイ評価会議後に対応したこと・参考としたこと

評価会議で出された意見について、課内で共有し、当該事業については廃止の方向で進めることとした。

B）R6年度の実績（事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果）

	実績の説明	単位	目標値	R6実績値	【参考】R5実績値
①	サービス利用者数	人	ー	0	3
②	サービス利用状況	回	ー	0	0
③					
④					
⑤					

□ 数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由と当初の目標と代替する目標を記載してください）

理由　及び 代替する目標	
R6実績は 去年と比べて	□ 向上した □ 例年通り ☑ 低下した □ その他
左記とした理由　又は　分析等（向上・低下した要因等）：利用者数は0人であった。	

C）分析（令和6年度の実績を踏まえて）　↓　該当するものに○をつけてください　↓

①この事業の**有効性**は ニーズとコスパ、執行体制、手法として最適か　等		高い		普通	○	低い
①の理由：						
②この事業における**市民協働・市民協創**の余地は ※市民協働、市民協創については別紙参照。		多くの余地がある		余地がある	○	余地がない
②の説明：令和６年度末で廃止予定						
③この事業が今後**民間活力**等を活用する余地について		多くの余地がある		余地がある	○	余地がない
③の説明：令和６年度末で廃止予定						
④この事業が今後類似事業と**統合・再構築**できるか ※類似事業がある場合のみ回答		可能である		検討の余地がある	○	不可能である
④の説明：令和６年度末で廃止予定						
⑤**近隣市の類似事業と比較して**充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答		他市より 充実している	○	他市と同程度		他市の方が充実
⑤の説明：						
⑥**東大和市独自の個性**を出している事業か		市の特長、個性を 出せる事業である	○	他市と同程度 個性はない		
⑥の説明：						

リアルタイム事務事業評価調書③【課題・今後の方向性、事業コスト】

A）来年度以降の課題や見直すべき点　※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	特になし
②	
③	
④	
⑤	

B）来年（令和7年度）の取組予定　※事務予定または、改善事項を記入してください。

①	事業廃止
②	
③	
④	
⑤	

C）上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等　※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。

①	事業廃止に係る事務手続き
②	市民への周知
③	
④	
⑤	

事業コスト　（　7　年　3　月　10　日 時点　）

予算科目	会計	一般			事業番号		事業名称	
			款	3		3		高齢者日常生活支援事業
			項	1				
			目	3				

R6予算額及び決算額　※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。　単位：円

R6予算額		R6決算額(暫定)		【参考】R5決算額	
事業費合計	130,000	事業費合計	0	事業費合計	12,210
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
13 使用料及び賃借料	130,000	13 使用料及び賃借料	0	13 使用料及び賃借料	12,210
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	130,000	一般	0	一般	12,210
国	0	国	0	国	0
都	0	都	0	都	0
市債	0	市債	0	市債	0
その他	0	その他	0	その他	0